

社会福祉士を取得されている皆さんへ

長崎県社会福祉士会に 入りませんか？

入会することで、いろいろなメリットがあります。
一部をご紹介します！！

メリット1 多彩な研修・学習のチャンスがあります！！

当会の魅力は、「多彩な研修&学習の機会が多い」ことです。入会すると「基礎研修」として、社会福祉士に必要な基礎的な項目を体系的に学ぶことができます。認定社会福祉士を目指す方にとって、この「基礎研修」は必須の研修であり、現在もたくさんの社会福祉士が学びを深めています。その他にも、事例研究会や各種研修会、見学会などの参加で、様々な視点から学ぶことが可能です。

自己研鑽は社会福祉士の義務となりました（注1）。研修会の機会を活用してスキルアップにつなげましょう！

（注1）2007年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正により、「社会福祉士には、相談援助等に関する知識及び技術の向上に努めなければならない」と明文化されました。

メリット2 仲間との つながりが広がります！！

当会には様々な分野の第一線で活躍している仲間がたくさん所属しています。交流会や研修会を通じて情報交換を行うことで、新たな展開がうまれる可能性があります。

また、全国レベルの研修会や、学会への参加で全国で活躍されている仲間とも交流できるチャンスがあります。

メリット3 最新情報が 得られます！！

社会福祉に関する動向などが、定期的に発行される社会福祉士会ニュースで得られます。

研修会や交流会を通じて
たくさんの仲間と出会うことができます！



長崎県社会福祉士会

検索



申込・お問い合わせは・・・

一般社団法人長崎県社会福祉士会事務局
〒852-8104長崎市茂里町3番24号
長崎県総合福祉センター棟5階

電話・FAX095-848-6012

（電話：平日10時～17時）

E-mail: csw-nagasaki@bloom.ocn.ne.jp

基礎研修Ⅰ アンケート回答より

□社会福祉士がどのように誕生したのか、どのように専門職団体として組織化したのかをわかりやすく理解することができた。職能団体として社会への責任を果たすためにも専門職の団体に入会して組織としてアクションを起こしたり、お互いにスキルアップしていくことが必要であることを実感しました。

□社会福祉士会の歴史について考えたこともなく今まで勤務していましたが、地域包括に勤務する者として、制度上におかれた責務や目的を理解してその実現に励みたいと思います。

□専門職としての継続研修の必要性、災害時の社会福祉士としての活動内容、新たな法改正による社会福祉士の役割の変化などを学ぶことができ、大変有意義でした。

□今回の研修を受けて研鑽の義務化を理解しました。専門職としての力量を維持向上し、利用者に貢献していくためにも生涯研修を受講する機会を積極的に作り続けていきたいと思います。

□グループワークで、自分が悩んでいたこと「専門性とは何だろう」ということが、少し見えてきた気がしました。

□グループワーク楽しかったです。いろんな分野で活躍する SW さんたちと話ができて力をいただきました。

□他職種に「SW としての専門性」として説明する機会が職場で多々あるが、明確に納得できるような言語化はできない現状である。この研修を通じて説明できるよう「価値・知識・技術」を高めていきたいと思う。

□日本社会福祉士会～長崎県社会福祉士会～個人会員の関係性を理解しました。なぜ研修が必要なのかも知ることができました。受け身にならず「会費の元をとってやる！」くらいの気持ちでかわっていくことが大切なのだと思います。

□「学ぶ」ことに取り組みやすい環境にありがたく思います。入会を決意して良かったです。

会員は社会福祉士賠償責任保険に加入できます

日本社会福祉士会では、業務の健全化を援護するとともに、都道府県社会福祉士会の会員である社会福祉士の民事上の損害をカバーするべく、社会福祉士賠償責任保険を開発・案内しております。

成年後見人活動

日本社会福祉士会主催「成年後見人養成研修」修了後、名簿登録（2017年度113名）、成年後見人として活動しています（権利擁護センターぱあとなあ長崎）。

平成 27 年度の県委託事業において、ぱあとなあ長崎会員が「成年後見相談対応マニュアル」を作成しました。